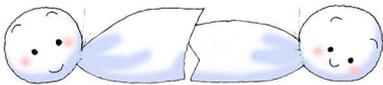


7/3(水) 専門委員会朝会にて、ビブリオバトルが開催されます!

人を通して本を知る



本を通して人を知る



“ビブリオバトル”はゲーム感を取り入れた新しいスタイルの書評合戦。自分の好きな本を持ち寄り、その面白さをみんなに伝えます。原稿などは用意せず、本の面白さをめいっぱいアピール!最後に「読みたい1冊」に参加者全員で投票を行い、優勝した本がチャンプ本になります。栃木県でも推進していて、公式ルールもあり、正式に認定されている楽しいバトルなんですよ!

瑞穂野中学校でも、6月3日(月)の専門委員会内で“ビブリオバトル”を実施。今年是一般参加も可とし、4チームでバトルを行いました。勝ち上がった各チームの代表者が、7月3日(水)の全校朝会に於いて“ビブリオバトルNo.1決定戦!”を戦います!これを機に、さらにお互いを知る機会が増えれば大変嬉しく思います。

内容が充実してきた2年生



堂々とした1年生



素晴らしいです



わきあいあい3年生

5月13日(月)10時~12時にかけて6名の図書ボランティアの方々が、図書室の壁面の装飾を作りに来てくださいました。改元に合わせて、『平成』、『令和』の入った壁面です。

図書室ボランティア活動



後日、図書委員3年生全員で仕上げました。



ご興味のある方は、瑞穂野中学校 副校長まで。

地域の方へ 図書ボランティアを募集しています

- 1. 図書室壁面の飾りつけ
2. 新しい本の受入の手伝い
3. ブックトーク(本の紹介) など





2年生熱いまなざしで聞いてくれています。



2年生の宮チャレ（職業体験）前に、お仕事に関連したテーマでブックトークを行いました。その様子をお伝えします。

中2国語の教科書にも読書案内として掲載のある本です。

『負けない

パティシエガール』

(933/バ)

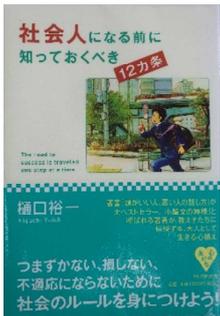
ジョーン パウアー/

小学館



ジョーン パウアーさんの『負けないパティシエガール』甘いお菓子に甘いお話？いえいえ、冒頭から車で逃走し、いくつかの街へたどり着き、そこで出会った人との交流、そして成長の物語。主人公は読み書きに困難がある女の子。お菓子を作ることが得意で大好き。様々な場面でそのお菓子作りが心の支えとなり、彼女を救います。カップケーキのように甘くはないお話ですが、きっと皆さんも励まされる場面や言葉がたくさんあります。「困難なとき」って最悪な気分になるけれど、力いっぱい立ち向かえば、そこから抜け出す道はきっと見つかるよ。樋口

裕一さんの『社会人になる前に知っておくべき12カ条』は大人の社会がどのようなルールで動いているかを元に社会に出て損をしないで生きていくための12か条。もともとは引っ込み思案で人前になると恥ずかしい性格だった著者。それが不安の中予備校で講師をすることになり、でも一生懸命やったら意外と人並みにできた。その後は『カリスマ講師』と呼ばれ、最終的には『小論文の神様』と呼ばれるまでに。「あの時しり込みしていたら今の自分はなかった。」と振り返る。「自分はこんな人間だ」という思い（セルフイメージ）は今すでに出来上がったものではなく、色んな人と出会って、経験して、悩んで考えて作っていくもの。可能性に溢れた中学生だからこそ、思い込みで自分を狭めることのないように意識していきたい。池上 彰さんの『僕たちはなぜ働くのか



『社会人になる前に知っておくべき12カ条』

(15/ヒ)

樋口 裕一/
PHP研究所

『僕たちはなぜ働くのか』上・下巻

(15/マ)

池上 彰/学研プラス



か 上・下』では、皆さんと同じ中学生を主人公とし、仕事や働くことの意味について、ひいては勉強や学校は何のためかを学ぶことができます。皆さんの就きたい仕事はなんでしょうか。様々な職業がありますが、社会を除くと”誰かの役に立つこと”が仕事になっています。現時点では世の中にどんな仕事があるのか、まだ分からないと思います。これからの生活の中で好きなことや得意なことに気づいたり、人と出会ってやりたいことがみつかったりすることだってあります。やりたいことややりたい職業が決まっていなくても“自分は何がしたいんだろう”ってしっかり考えていけばいいんです。この先の挫折や困難は皆さんを強く優しい人に成長させてくれます。失敗したり、相手に迷惑をかけたとき、その後どうするか。失敗は誰でもするもの。きちんと対応する、責任を取ることが、後の信頼につながります。成功している人、活躍している人は、必ずその裏でそれに匹敵する努力をしています。これからもたくさんの経験と出会いをしてください。応援しています!!

